

1000年先の未来へ。
美しい里、豊かな海



かがわ里海大学2021 スタートアップ講座

海の生き物観察講座 ～磯の生き物編～(三豊市会場)

開催しました!



- 日時 令和3年7月10日(土) 16:00～18:00
- 会場 大浜海岸
- 講師 山田 富士夫 氏 (里海ガイド養成講座(応用)修了生)
- 講師アシスタント 木村 晃子 氏 (海の生き物観察力向上講座修了生)
田中 真利子 氏 (海の生き物観察力向上講座修了生)

7月10日土曜日、大浜漁港にて、かがわ里海大学2021スタートアップ講座「海の生き物観察講座～磯の生き物編～」を開催しました。小雨の降る中、小学校低学年から大人まで21名の受講者が参加し、講師にかがわ里海大学「里海ガイド養成講座(応用)」修了生の山田富士夫氏を迎えて開催しました。この講座は、瀬戸内海の海岸の磯にはどのような生物いるのかをチェックシートを用いながら確認し、海のきれいさ・豊かさを調べる目的として開催しました。

まず講師から、磯の観察では足元が悪いため注意して歩くこと、また中には危険な生き物もいるので気をつけて観察することなど、観察する上での注意事項について説明がありました。





その後、潮の引いた海岸を足元に気をつけながら観察地点へ向かいました。到着後、講師から、どのような場所に生物が棲んでいるかについて説明があり、チェックシートをもとにグループ単位で観察しました。岩の間や石の下、潮だまりなどを覗き込みながら、海岸に生息している生き物を観察しました。



観察終了後は、どんな生き物を見つけることができたか、どれくらいの量が生息していたかについてグループでまとめ、受講者全員で発表しました。

受講者からは「貝は色が岩と似ていたり、微妙に模様が変わったりして見分けるのが難しい」「カニやウニがいっぱいいた」などの声が挙がっていました。

生物指標チェックシートをもとに、今回観察できた生物の種類や量を計算しました。まとめた結果、今回の観察場所の水質の評価は「きれいな海」で、生物環境の評価は「ややとぼしい」となりました。



発表の後は、磯の周辺を自由に観察しました。磯にはあまり馴染みのない不思議な形の生き物もたくさん見つかることができ、受講者みんなで盛り上がりました。受講者からは講座の後、「普段気づくことができない色々な生き物を発見することができた」「いろいろな生き物が観察できて楽しかった」という声がありました。

